

平成 29 年 10 月 月 報

1 はじめに

衆議院の解散に伴い、今月は、衆議院議員の選挙（10月10日公示、22日投票）があります。解散大義の論議は別として、緊迫化する昨今のわが国を取り巻く安全保障環境、特に北朝鮮情勢にどのように対応するか、また少子・高齢化、経済、人づくり等多くの課題を抱えるわが国を今後どのような政策を掲げて、国民の命と平和な暮らしを守ろうとするのかが、問われる大事な選挙であると思います。また、憲法と自衛隊についても大いに関心のあるところです。投票は、大事な政治への参加です。家族会の皆様、是非、投票に行きましょう！

2 自衛隊高級幹部会同で安倍総理訓示



訓示する安倍総理

9月11日、防衛省内において自衛隊高級幹部会同が開催され、安倍総理大臣、小野寺防衛大臣をはじめ、防衛省及び各自衛隊幹部約180人が参加しました。総理は訓示で「北朝鮮のミサイル発射や核実験という暴挙や相次ぐ国籍不明機による領空接近に対しは、真正面から向き合う。わが国自身の防衛力を強化し、自ら果たし得る役割の拡大を図っていく」と述べました。

また、昨今の情勢に対応していくためには「防衛大綱の見直しや次期中期防衛力整備計画の検討など、将来のあるべき防衛力について不断の検討が必要です」と述べ、防衛力整備を着実に実施していくことを明言しました。

3 自衛隊家族会の活動

(1) 平成29年度第1回防衛講演会を仙台市で開催



講演する鍛冶雅和氏

9月12日（火）、宮城県仙台市において自衛隊家族会主催の防衛講演会が宮城県家族会（鎌田徹会長）の担当で行われました。伊藤自衛隊家族会長の主催者挨拶に続き、元潜水艦隊司令官の鍛冶雅和氏（家族会本部運営委員）が「日頃、海上自衛隊に接する機会の少ない宮城県の皆様に『ここだけの話』をします」と題し、自らの経験を踏まえた分かりやすい講話に、324名（一般聴講：209名）が熱心に聴講し、90%の方に満足を頂きました。

(2) ボランティア保険の導入開始

平成29年6月総会決議に基づいて具体化を進めていた、本会が行う自衛隊員の家族支援協力を実施する会員に万が一事故が発生した場合に備えるボランティア保険制度を平成29年10月1日から開始することに致しました。

この保険の対象となる活動は、次のとおりで、本保険を大いに活用して下さい。

- ① 災害発生時における家族支援協力活動
- ② 自衛隊が計画する家族支援実動訓練の参加
- ③ 県家族会が独自に実施する家族支援実動訓練（家族支援協力の一環として行う「おやばと」の手配りを含む）

(3) 改正個人情報保護法への対応

改正個人情報保護法への対応について、9月15日に業務執行理事会を開催するとともに、9月の運営委員会においても検討しました。

対応の基本方針は、自衛隊家族会の取得する個人情報等は、本会会員に関する情報、家族支援協力に関する情報及びおやばと購読者に関する情報等で特定の個人を識別できるものとし、個人情報に関する法令を遵守し、適切かつ安全に取り扱うとともに個人情報等の保護に努めます。

今後、自衛隊家族会個人情報保護規則を30年3月理事会において改正し、個人情報取り扱いマニュアルを作成することにしました。

4 各県家族会の活動

(1) 北海道地域協議会



8月30日、札幌市において北海道地域協議会（香月正会長）が開催され、本部から、土谷委員が参加しました。

協議会では、家族支援協力に関する協定、ボランティア保険の導入、会員の拡大、家族会の活性化について意見交換を致しました。

(2) 中国地域協議会



挨拶する福谷会長

9月7日、広島県廿日市市において、中国地域協議会（福谷薫会長）が開催され、本部から伊藤会長及び小松理事が参加しました。

協議会においては、小松理事が、本部施策を説明するとともに、家族支援協力及び会員拡大施策について、意見交換を致しました。

8日は、日本三景の一つである「安芸の宮島」を研修しました。

(3) 各種活動スナップ

家族支援協力協定締結



佐賀県家族会

防衛講演会



広島県家族会

女性地区会長誕生



富山県家族会

第10 特科隊新隊員激励



愛知県家族会
防大短艇競技会を激励



神奈川県家族会

第12 特科隊新隊員激励



栃木県家族会
行進訓練を激励



新潟県家族会

島松駐屯地研修



道央家族会
旭川駐屯地研修



茨城県家族会